

AY-12、BY-12

心理学に関する領域①

防衛機制について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 防衛機制とはどのような心のメカニズムか説明せよ。
- 2 「合理化」、「分割（スプリッティング）」、「投影同一化」、「反動形成」のそれぞれの防衛機制について、原始的防衛機制に分類される場合はA、高次の防衛機制に分類される場合はBと記し、具体例を用いて説明せよ。
- 3 小学校3年生の女兒Aは、休み時間も他児と遊ばず一人でぼーっと過ごし、ここ1年ほど、身体の成長の状況も良くない。元気がない様子を心配した担任教諭と養護教諭が、Aと話をしたところ、表情も乏しく、「特に困っていることはない」と取り付く島がない。保護者に連絡することを伝えると、Aは父親や母親がどれだけ完璧な親か、Aを大切にしてくれているかを饒舌に話し出す。その様子に不自然さを感じた担任教諭と養護教諭は、Aにスクールカウンセラーと話すことをすすめ、スクールカウンセラーが面接を実施した。

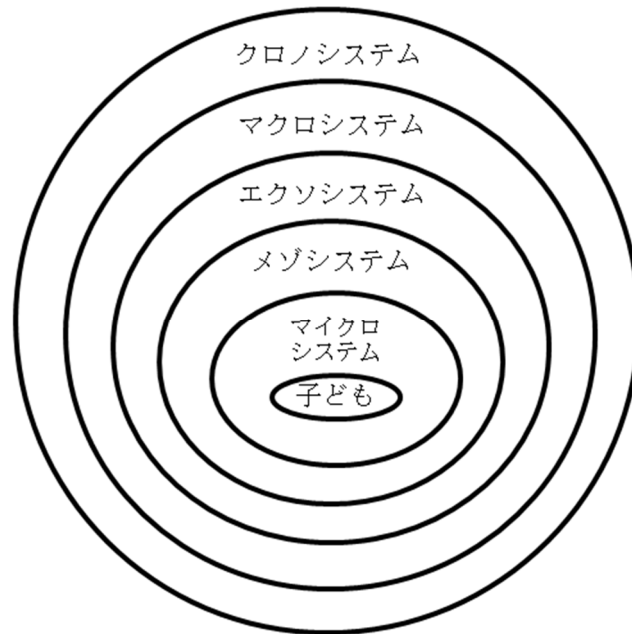
Aが作用させていると考えられる防衛機制を根拠とともに挙げ、スクールカウンセラーがAと初回面接を実施する際に留意すべきことについて論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

心理学に関する領域②

下図は、Bronfenbrennerの生態学的システム理論のモデル図である。この図を基に次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。



- 1 図の中に示される各システムについて説明せよ。
- 2 Bronfenbrennerの生態学的システム理論の特徴を説明した上で、この理論的枠組みが発達研究に及ぼした影響や課題について論ぜよ。
- 3 小問1と2を踏まえて、異文化環境で育つ子どもの発達に対する理解や支援に際し、どのように活用できるか、具体的に論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

心理学に関する領域③

G. H. Mead の自己論について、次の1から3までの小問に答えよ(問いの順に解答すること)。

- 1 G. H. Mead の自己論における自己概念の形成過程について、簡潔に説明せよ。
- 2 「一般化された他者(generalized other)」という概念を用いて、自己概念が人の所属集団や社会的環境にいかなる影響を受けるか、小問1を踏まえて説明せよ。
- 3 人は誰もが、家族や他の所属集団によって反社会性を獲得する可能性を有している。反社会性を内面化し、犯罪などの逸脱行動が発現されるに至るまでのプロセスについて具体的な例を挙げ、小問2と関連づけて分析して論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 2、B Y - 1 2

教育学に関する領域①

現代の日本における初等・中等教育段階の学習評価に関して、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 「学習評価」の意義や役割について、学習指導要領（平成29・30年告示）と関係づけながら説明せよ。
- 2 「観点別学習状況」とは、各教科及び科目の目標や内容に照らして児童・生徒の学習状況を評価するための枠組みである。「観点別学習状況」の一つの観点である「主体的に学習に取り組む態度」とはどのようなものか、その特徴と評価の際の留意点について説明せよ。
- 3 小問2を踏まえて、「主体的に学習に取り組む態度」の評価をする上で、教師又は教育行政機関が取り組むべき方策にはどのようなものが考えられるか、教師又は教育行政機関のいずれかの立場を決めた上で論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

教育学に関する領域②

行動主義的な学習理論に関する次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 古典的（レスポナント）条件づけについて、具体例を挙げて説明せよ。
- 2 道具的（オペラント）条件づけについて、具体例を挙げて説明せよ。
- 3 道具的（オペラント）条件づけを教育場面に応用した学習法について、具体的な特徴を挙げて説明せよ。

(100点)

A Y - 1 2、B Y - 1 2

教育学に関する領域③

日本は、現在、メリトクラシー社会と呼ばれる状況にあると考えられている。次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

なお、1から3の小問を通して、以下の語句を必ず1回は使用し（順不同）、その語句の初出時には下線を付すこと。

選抜・配分      出自（生まれ）      学歴志向      A O 入試  
主体的・対話的で深い学び      社会情動的スキル

- 1    メリトクラシー社会とはどのような特徴のある社会か説明せよ。ただし、必ずメリットとは何かについて定義すること。
- 2    近年、大学入試において選抜方法の多様化が見られるが、どのような変化が起きているか説明せよ。
- 3    近年、教育分野などにおいて非認知能力が注目されているが、その特徴や重要性について論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

福祉に関する領域①

障害のある人へのソーシャルワークについて、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 自立生活運動について説明するとともに、それが自立観にいかなる影響を及ぼしたかを説明せよ。
- 2 障害の個人（医学）モデル、社会モデル及び両者の折衷モデル（相互作用モデル）について、以下の語句を全て用いて簡潔に説明せよ。

国際障害分類      国際生活機能分類      障害者の権利条約

- 3 小問2の内容を踏まえ、障害のある人に対してソーシャルワーカーが行う支援の中で提供する合理的配慮について、架空の事例を設定し、その具体的内容や支援の際の留意点を挙げて論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

福祉に関する領域②

子どもの貧困について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 日本における子どもの貧困の背景と現状について論ぜよ。
- 2 子どもの貧困における予防的な取組の意義について論ぜよ。
- 3 子供の貧困対策に関する大綱（令和元年11月29日閣議決定）における重点施策を3つ示し、各々について簡潔に説明せよ。

(100点)



AY-12、BY-12

福祉に関する領域③

介護保険法に規定された地域ケア会議について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 地域ケア会議が規定された背景を踏まえ、その目的及び意義を、総合的・包括的なソーシャルワークの視点から論ぜよ。
- 2 地域ケア会議が有する機能を5つ挙げ、それらの内容と相互の関係性を具体例を挙げて説明せよ。

(100点)

AY-12、BY-12

社会学に関する領域①

日本社会の少子化について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 日本社会における少子化の現状とそこから生じうるとされる問題について説明せよ。
- 2 1990年代以降の日本の少子化対策の変遷を説明した上で、残されている課題について論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

社会学に関する領域②

環境犯罪学は、犯罪・非行を説明するための有力な枠組みである。この理論について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

1 環境犯罪学の学術的背景と中心的な主張について説明せよ。

なお、解答の中で、以下の全ての語句を順番どおりに使用し（複数回使用する場合はそのうちの1回が順番どおりであれば可）、全ての語句（複数回使用する場合はその全て）に下線を付すこと。

人間生態学    ショウとマッケイ    領域性    抵抗性  
犯罪防止    割れ窓理論    ゼロ・トレランス政策    落書き

2 環境犯罪学の知見に基づいて、コミュニティ・ポリシングが各国の犯罪・非行対策における重要な要素として注目されている。コミュニティ・ポリシングの意味を説明したうえで、この考え方を応用した少年非行対策について具体的に論ぜよ。

なお、解答の中で、以下の語句を必ず1回は使用し（順不同）、その語句の初出時には下線を付すこと。

警察    地域住民    サンプソン    集合的効力感

(100点)

AY-12、BY-12

法律学に関する領域①（民法）

Aは、令和4年2月、Bとの間で、Aの自宅である甲建物を1000万円でBに売却する旨の契約を締結した。Aは、契約を締結する際、甲建物の目の前に墓地が新設される計画があるため甲建物を売却するとBに説明しており、計画が存在することを前提に代金額が決定された。もっとも、実際には計画は存在しておらず、Aはそのことを令和4年8月に認識した。

次の1及び2の小問に答えよ（各小問は独立した問いである。）。

- 1 Bは、令和4年10月、Aに対して、売買契約に基づき甲建物の引渡しを請求した。Aは、Bの請求を拒むことができるか。
- 2 Bは、令和4年5月、AB間の契約に関する事情を知らないCに甲建物を転売し、Cは、令和4年10月、Aに対して、所有権に基づき甲建物の明渡しを請求した。Aは、Cの請求を拒むことができるか。

(100点)

AY-12、BY-12

法律学に関する領域②（民法）

個人で家具店を営むAは、令和5年2月1日、客Xに対し、アンティーク家具（以下「本件家具」という。）を100万円で売り、Xから代金を受け取ったが、本件家具は引き続き家具店内で預かっていた。もっとも、Aは、同月15日、別の客Yに対しても、本件家具を100万円で売り、代金を受け取って、Y宅に本件家具を運搬した。Xは、Yに対し、所有権に基づき、本件家具の引渡しを求めた。

次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 XY間の法律関係はどのようなになるか。
- 2 下線部分につき、本件家具がY宅に運搬されておらず家具店内に存する場合、Yは、Xに対し、本件家具の所有権を主張することができるか。

(100点)

AY-12、BY-12

法律学に関する領域③（刑法）

Xは、高齢で一人暮らしをしているAから金員を騙し取ろうと企て、Aの孫を装って電話をかけ、「仕事でミスをして会社に損害を生じさせた。今日中に100万円を用意しないと会社をくびになる。公園まで100万円を持ってきて。」などと伝えた。Aは、Xの話信じ、100万円を用意して公園に行った。

Xは、公園に向かったものの、遠くからAの様子をうかがっているうちに、Aが気の毒になりこんなことはやめようと思い、自ら警察に連絡をし、警察官が来るとそのまま立ち去った。

Xの刑事責任について論ぜよ。

(100点)

AY-12、BY-12

法律学に関する領域④（刑法）

1 Xは、勤務していたA社を不当な理由で解雇されたことに立腹し、生活費に困窮するようにもなったため、A社事務室内の金庫から売上金を奪おうと考え、夜間、A社事務室に侵入した。事務室内には従業員Bが残業していたところ、Xは、Bに対し、ナイフを突きつけながら、「金を出せ。さもないと刺すぞ。」と申し向けた。Bは、恐怖心から抵抗できずに、Xに対し、A社の売上金10万円を渡した。

Xの刑事責任を論ぜよ（ただし、銃砲刀剣類所持等取締法違反の点を除く。）。

2 小問1の下線部分が、「Bは、豪胆で恐怖心を持たなかったが争うのは面倒だと思い」であった場合、Xの刑事責任は、小問1の結論と異なるか。

(100点)